

QUANTUM

量子芸術祭 Quantum Art Festival 2/4 開催のお知らせ

“不確実性は無限の可能性 第2章”

近い将来、私たちの生活を大きく変えるテクノロジーを生み出すことが期待される量子論。しかし、複雑で難解な量子の世界を、身近に感じることは容易ではありません。

量子芸術祭は、量子の世界を科学と芸術の2つの分野で繋ぎ、科学と芸術の対話を生み出すことによって、ともに未来を考えようと、4回シリーズで企画された芸術祭です。2回目にあたる量子芸術祭 2/4 は、4回のオンラインイベントと量子コンピュータ研究とアートを結んだ作品展示で構成されます。シリーズ完結時に全体像が浮かび上がることを目指す量子芸術祭は、今回の開催でその半分か明らかになります。未来の社会に量子コンピュータ技術がどのように影響するのか——その一端を実験的なプロジェクトを通して調査・研究する試みと、その展示を通して、未来社会の可能性を感じていただけるでしょう。研究者にとっても、芸術祭の実施は研究活動に創造的な刺激をもたらします。本芸術祭は、科学と芸術の双方向から量子技術の現在を体験し、未来を考えるためのいきいきとした機会となることを目指します。

量子芸術祭 2/4 開催概要

オンラインでは、量子とアート、色、香りがどのように関係づけられるのかについて対話を重ねます。展覧会は4部構成で、国内外の研究者の紹介、量子技術の社会実装表現の取り組み、量子技術を使ったアートと社会の接点、それぞれを作品として展示します。

オンラインイベント

■ 12月4日(月) 12:00～13:00

「量子コンピュータアートの、新たな表現の地平」
久保田晃弘 (アーティスト)+森旭彦 (サイエンスライター)

■ 12月5日(火) 12:00～13:00

「量子と色：色がつくる未来の生活」
高椋章太 (QunaSys)+小泉英明 (脳科学者、物理学者、日立製作所名誉フェロー)
モデレーター：白澤貴司 (日立製作所 研究開発グループ デザインセンタ デザイナー)

ARTIFICIAL
ADVISORY
EXPLICIT CONTENT

QUANTUM

■ 12月6日（水）12:00～13:00

「長谷川愛さんが尋ねる量子コンピュータの面白さ」

長谷川愛（アーティスト、デザイナー）+ 富田隆文（自然科学研究機構 分子科学研究所 助教）

モデレーター：藤原大（クリエイティブディレクター）

■ 12月7日（木）17:00～18:00

「量子と香り」

東原和成（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）+ 上田麻希（アーティスト）+

水野弘之（日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ主管研究長 兼 日立京大ラボ長）

モデレーター：藤原大（クリエイティブディレクター）

展覧会

展覧会名：量子芸術祭 Quantum Art Festival 2/4

会期：12月7日（木）～ 9日（土）

会場：LIGHT BOX ATELIER 2F（東京都港区南青山 6-13-1）

開場時間：11:00～18:00（12月7日は 16:00～18:00）入場無料

展示構成について

プロジェクト1

■ 国内の量子コンピュータ技術の研究者とアーティストが対話し、作品を制作

藤井啓祐（大阪大学大学院基礎工学研究科 教授）+ クツザワ コロリ（アーティスト、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科）

富田隆文（自然科学研究機構 分子科学研究所 助教）+ 富永泰紀（アーティスト、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科）

プロジェクト2

■ 海外の量子コンピュータ技術の研究者とアーティストが対話し、作品を制作

ノーマン・メティック（日立ヨーロッパ UK-ERD ケンブリッジ・ラボラトリー）+

富永泰紀（アーティスト、武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科）

プロジェクト3

サイエンスとアートを融合させ、社会課題に挑む R&D プロジェクト

■ 「量子と富山のおりん／デジタル遺言を通じた未来社会の展望」

藤原大（クリエイティブディレクター）協力 桐山登士樹、柴草朋美、富山県総合デザインセンター

ARTIFICIAL
ADVISORY
EXPLICIT CONTENT

QUANTUM

■「量子と香り インスタレーションバージョン」

東原和成（東京大学大学院農学生命科学研究科 教授）＋
上田麻希（アーティスト）＋三浦武明（蒸留家、フライングサーカス代表）

プロジェクト 4

飛躍的な進化を遂げる人工知能（AI）に、人間はどのように対処していくのか——人間の知性および創造性と AI の関係を創造的・批判的に検証するプロジェクト「アーティフィシャル・アドバイザー」が量子芸術祭に参加する。今回の展示では、AI が生成した「量子コンピュータがある未来の社会」を作品を通して観客に提示する。描かれたその未来像をめぐって、さまざまな思考と議論が巻き起こるであろう野心的な探究である。この作品の形態は私たちの身近にあるものだが、それが何なのか、ぜひ来場して確かめていただきたい。

■「アーティフィシャル・アドバイザー 人工的な勧告—露骨な内容」

森旭彦（サイエンスライター）
協力 一般社団法人量子技術による新産業創出協議会（Q-STAR）

量子芸術祭 Quantum Art Festival 2/4

主催：量子芸術祭実行委員会

実行委員長：水野弘之（日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ主管研究長 兼 日立京大ラボ長）

総合監督：藤原 大（クリエイティブディレクター、デザイナー）

サウンドクリエイション：瀬藤康嗣＋フェリス女学院大学瀬藤研究室

協力：嶋田義皓（科学技術振興機構 研究開発戦略センター フェロー）

編集：谷口真佐子（AXIS）、森旭彦（サイエンスライター）、塚田有那（Whole Universe）

量子芸術祭ウェブサイト：<https://www.artfesq.com/>

お問い合わせ：DDI 権守 剛（Takeshi Gonnokami）gong@daiand.com MOBILE 090-2837-1753

ARTIFICIAL
ADVISORY
EXPLICIT CONTENT